

「Google、7月24日にchromeのバージョン68を7月24日にリリースすると発表。」

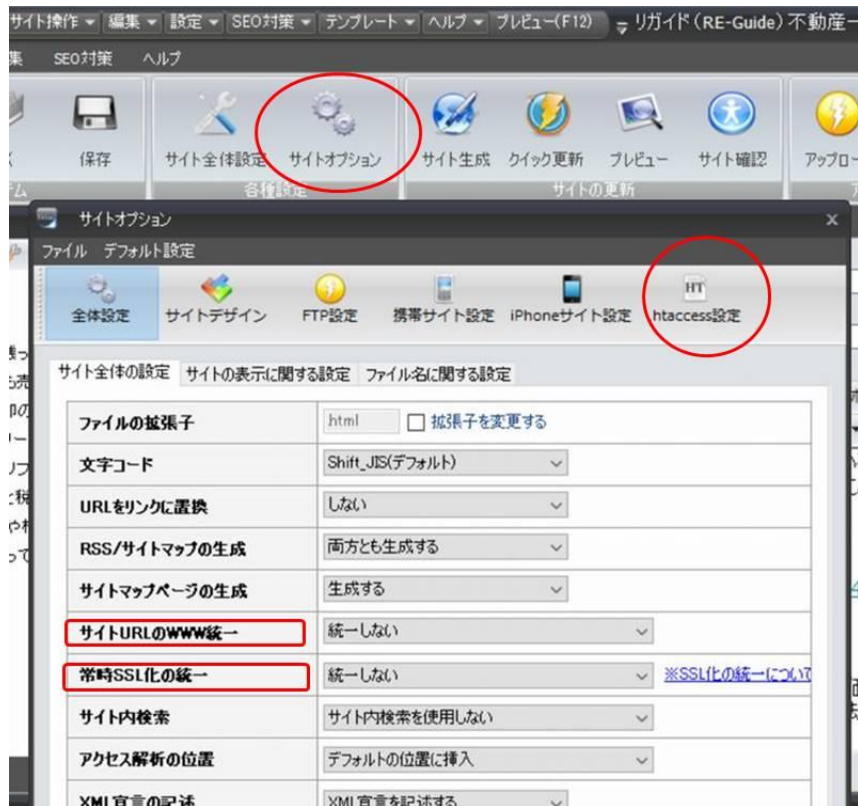
これまでもGoogleは非SSLサイト(http://で接続するサイト)に対する警告表示を段階的に強化しており、

パスワード入力フォームやクレジットカードの入力フォームのURLがSSL接続(https://で接続)でない場合、警告が強制的に表示されていました。

そして、7月24日にリリースされる新バージョンのchromeにより、

警告の表示範囲が「SSL接続ではない全てのURL」に適応され、

https://で接続出来ないすべてのサイトは「安全でないサイト」として表示されるようになります。



編集画面で
サイトオプション

↓
「サイトURLのwww統一」で使用するドメインに合わせて下さい。

例)

https://www.abc.com/の場合、
「wwwありで統一する」を選択。

https://bcd.com/の場合、
「wwwなしで統一する」を選択。

↓
「常時SSL化の統一」で「常時SSL化の統一する
(HTTPSで統一)」



.htaccessの上部に貼り付けておいてください。
ErrorDocument 404 <http://www.aaa.com/>

※<http://www.aaa.com/>は使用するドメインです。

半角スペースとかはきっちり削除せずに合わせてください。

その他再設定すること

- ・アクセス解析も、https://のアクセス解析を設定しなおすこと
- ・サーチコンソールも https://で新たに設定し直す
参考：
<https://tomato-code.com/1763/>
- ・アナリティクスも設定し直す
参考：
<https://wacul-ai.com/blog/access-analysis/google-analytics-setting/google-analytics-https/>
- ・https://のサイトになるとASPのリファラが取れなくなるので、リンクタグも https://の付いたものにする